

【練習問題】

[6] 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

雪おもしろく積もりたる朝に、白河院に、御幸^(みゆき)などもやあらむと思ひて、ある殿上人^(ア)の馬引か^(a)せて参り給へりけるに、院、「いとおもしろきかな」と仰^(b)せられて、御覽^(おん)ぜむと思ほしめしたりけるに、馬具^(まぐ)して参りたる、⁽¹⁾いみじく感ぜさせ給ひて、御^(イ)随身の参りたりける、一人御供^(とも)にて、にはかに御幸ありけるに、北山の方さまに渡らせ給ひければ、その隨身ふと思ひよりて、もし小野の後の山住みし給ふなどへや渡らせ給はむずらむと思ひて、かの宮に詣^(まう)でつかまつるものによさぶらひけむ、にはかにしのびて、「御幸の侍る、そなたさまに渡らせ給ふ。^(A)もしその御わたりなどへや侍らむずらむ」と⁽²⁾告げきこえければ、かの入道の宮、その御用意ありて、法華^(ほっけ)堂^(だう)に三昧僧^(さんまいそう)経しづやかに読ま^(B)せさせ給ひて、^(C)庭の上いささか人のあと踏みなどもせず、うちいで十具ばかりありける、中より切りて、袖二十出ださむ用意ありけるを、「もし入りて御覽する事も侍らむ。いと見苦しくや」と女房申しけれど、切りて出だし給ひけるに、⁽³⁾すでに渡らせ給ひて、階隠^(はしがくし)の間に御車立てさ^(c)せ給ひて、かくとや侍りけむ。さやうに侍りけるほどに、^(ウ)汗衫^(あせぢ)着たる童二人、一人は銀の銚子^(しろがね)に御酒入れてもて参り、いま一人は銀の^(ニ)折敷^(せぢ)に金の御盃^(さかづき)据ゑ

〔出題校〕

千葉大

〔重要語句〕

- おもしろし
- 御幸
- 殿上人
- 参る
- 給ふ
- いと
- 仰す
- 御覽す
- 思ほしめす
- 具す
- いみじ
- 隨身
- にはかなり
- 渡る
- 詣づ
- つかまつる
- さぶらふ
- しのぶ
- 侍り
- わたり

て、大柑子^{だいかんじ}御さかなにて出だし給へりければ、御ともの殿上人取りて参りて、いとめづらしき御用意に侍りけり。かへら^(d)せ給ひて後「^(D)かしこう内を御覽ぜでかへらせ給ひぬる」など御たち申しければ「雪見に渡り給ひて入り給ふ人やはある」とぞ^④宣はせける。
 (『今鏡』)

(注) ○三味僧——法華堂に常住して法華三昧を修する僧。

○階隱の間——階隱とは寢殿の階^{きざはし}の前に柱を二本立て、上に屋根を作りかけたもので、輿や車を寄せるための設け。「階隱の間」とは、その階隱の中央に当たる間。

○大柑子——大きな柑子。柑子はみかんの類をいう。

問一 傍線部(ア)―(エ)の漢字の読みをひらがなで記せ(現代仮名づかいを用いてもよい)。

(エ)

(ウ)

(イ)

(ア)

- きこゆ
- 用意
- うちいで
- 女房
- 申す
- すでに
- 立つ
- かく
- ほど
- 汗衫
- 童
- めづらし
- かしこし
- 宣はす